

第1回老田小学校のあり方協議会 議事概要

開催日：令和6年8月29日（木）

開催時間：19時00分～

開催場所：老田公民館

出席者：深田会長、中川副会長、渋谷副会長、秋元委員、庄司委員、
橋北委員、佐藤委員、花崎委員、春田委員、西村監事、宮崎委員

事務局：教育委員会事務局次長 高橋 洋
学校再編推進課長 山崎 悟
学校再編推進課長代理 高岡 太郎
学校再編推進課計画係主査 春田 圭介
学校再編推進課計画係主事 大関 光貴

《開会》

【司会】 第1回老田小学校のあり方協議会設立総会を開催する。
本日、都合により委員2名が欠席している。
(高橋教育委員会事務局次長 挨拶)

《事務局説明》

【司会】 協議の流れと議論の進め方について事務局より説明する。
【学校再編推進課長】 (協議会の流れ・議論の進め方について説明)

《議事進行》

【司会】 本協議会の協議会長が正式に決まるまでの間の仮の議長を、
老田地区自治振興会の会長にお願いしたい。
【深田委員】 それでは、しばらくの間仮議長を務める。議事に入る。

《議題進行：第1号議案から第3号議案》

【深田委員】 第1号議案「老田小学校のあり方協議会会則（案）」、第2号

議「役員の選出」、第3号議案「予算（案）」について、一括して議題とする。事務局より説明を求める。

【学校再編推進課長】 （第1号議案から第3号議案について説明）

【深田委員】 今の事務局からの説明について、質問はあるか。
質問がないようなので、お諮りする。第1号議案から第3号議案について原案のとおり可決することに異議はないか。

（異議なし）

【深田会長】 異議ないものと認める。
よって、第1号議案から第3号議案については、原案のとおり可決する。
本協議会の会長に指名いただいたので、一言挨拶申し上げます。

（会長 挨拶）

【深田会長】 それでは、老田小学校の現状について共通理解を得るために、事務局から老田小学校の状況等について説明を求める。

【学校再編推進課長】 （老田小学校の状況について説明）

【深田会長】 ただいまの事務局からの説明について、質問はあるか。

【委員】 古沢地区と池多地区の各協議会が設立されているが、その協議会の様子はどうか。

【学校再編推進課長】 8月22日に両協議会の合同で第3回協議会が開催され、初めて古沢小学校のあり方協議会と池多小学校のあり方協議会の委員が集まり意見交換をされた。その場では、老田小学校と統合してはどうかという意見が出ていた。また、事務局から老田地区においても、あり方協議会を設立される予定であることを報告した。

協議の中で、できるだけ早く統合したいという意見があったため、老田小学校に統合した場合には、教室の整備に期間を要することから、最短でも令和9年4月となる見込みであることを回答した。

【委員】 老田小学校に3校で統合する場合、クラスが増えることになると思うが、校舎の増築等が行われるのか。

- 【学校再編推進課長】 基本的には増築ではなく、普通教室以外の用途に使っているものを普通教室に改修するという形で検討している。
- 【委員】 古沢・池多の協議会で老田小学校の授業を視察すると聞いているが、時期は決まってるか。
- 【学校再編推進課長】 両協議会合同の学校見学会ということで、11月の開催を予定している。
- 【委員】 統合にあたって、PTA組織はどうなるか。
- 【学校再編推進課長】 基本的には、STEP3の統合準備協議会で協議する。
- 【委員】 老田の子ども会は、現在学校の教室を利用しているが、統合によって、その教室が使用できなくなるということはあるか。
- 【司会】 子ども会については、各地区ごとに学校の統合に伴って、継続するかどうかを判断していただくことになるが、もし統合した場合に今の教室では入りきらないということであれば、古沢と池多の子ども会はそのまま存続するという事も選択肢としてある。
- 【委員】 統合していく上で、児童数の推移を考慮すると、どういった形で順番に統合していけば一番いい統合になるのかということが分からない。今統合するとなると教室が足りないということであれば、増築ということも市としては考え得ることなのか。あるいは、例えば、通信教育も踏まえて、毎日一緒でなくても、そういう教育ができるということも考えられるのか。あるいは世の中の技術革新に応じたよりよい教育といったものを考えておられるのか。
- 【司会】 オンライン学習を導入するかということを検討しないのかという点については、統合するしないに限らず、様々な教育の変化というものを教育委員会全体として考えている。老田・古沢・池多が統合するからそこだけ特別にということではない。ただ、教室については、統合の前提となるため、足りなくなるとすれば足りるように整備を行うものの、その方法については未定である。

【委員】 教室の数を増やすために、今は別のスペースとして使っている場所を教室として使っていくことも検討するという話だと思う。その際に、例えば、算数の授業を少人数に分けて学ぶような活動が制限されたり、少人数クラスでの学び方が今後できないようなことも起こり得るか。

【学校再編推進課長】 学校とは、学校の運営について支障が出ない前提で話しており、今後改修によって、教育に支障が出るというような状況になるのであれば、別の方法も考えていく必要があると思うが、まだ学校との協議を始めたばかりのため、今後検討していきたい。

【深田会長】 事務局から説明があったとおり、現在、古沢と池多地区において、老田小学校に統合する案を含め、話し合いがおこなわれている。このあり方協議会は、自分たちの地域の学校再編の方向性を話し合うものであり、今後の進め方としては、古沢・池多地区の方針決定を待つのではなく、まず老田地区で老田小学校をどういうふうにしていくか話し合いたい。

そこで、次回の協議会では、老田小学校の統合について各委員の所属する団体としての意見をお聞きするため、各所属団体において、意見集約をお願いしたい。

【司会】 第2回協議会については、日程調整のうえ、改めて案内させていただきます。

【深田会長】 それでは、第1回老田小学校のあり方協議会を終了する。

— 了 —